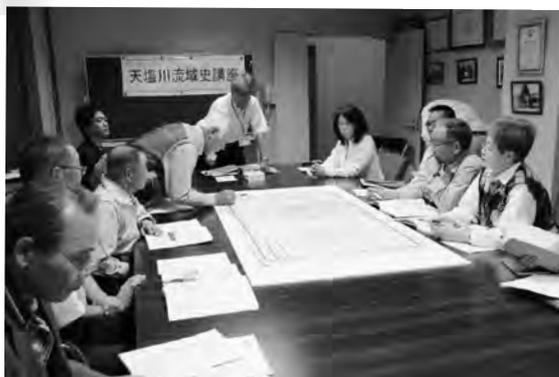


6/21 (土)  
東保育所運動会



かけっこやお遊戯などさまざまな競技が行われ、会場に訪れた保護者などは、この日に向けて練習してきた所見たちの姿に声援や拍手を贈りました。

6/19 (木)  
天塩川流域史講座



博物館主催の同講座に市内外から19人が参加。明治43年に発行した「名寄案内」を補足や説明を受けながら読みとき、開拓期の名寄を学びました。

6/28 (土)  
健康づくり特別講演会



名寄ふるさと大使の千葉一敏氏を講師に健康食品や特定保健用食品の正しい利用法について知識を深めました。

6/26 (木)  
アカゲラが電柱に



税務署近くの空き地にある木製の電柱に市の鳥「アカゲラ」が巣をつくっていました。ひな鳥は元気よく鳴いて巣穴から顔を出していました。

名寄市民劇場「ピヤシリ賛歌2天塩川」

6月29日に名寄市民劇場実行委員会(東千春実行委員長)主催の同劇場が市民会館で行われました。本公演は来年5月に市民ホール「E<sup>ニ</sup>N-R<sup>ン</sup>AY」がオープンすることに伴って閉館する市民会館への感謝の気持ちをこめ、8年ぶりに市民参加の劇場を復活。昭和8~15年頃の名寄を舞台に天塩川の氾濫や当時の教育をテーマにした平成17年公演の「ピヤシリ賛歌2天塩川」を再演しました。公演には、およそ100人もの市民が参加し、熱演を披露。フィナーレには、参加者全員でピヤシリ賛歌を歌いました。



7/6 (日)  
ふれあい広場2014なよろ



福祉団体など27団体の出店、車いす・点字などの体験、ステージイベントなどが行われ、福祉やボランティアについて理解を深める1日となりました。

7/5 (土)  
天文台で七夕飾り



市内の幼稚園・保育所の子どもたちや大学生などのおよそ800の願い事が書かれた七夕飾りが7月5日から7日まで同館の入口に天の川のように飾られました。

なよろ煮込みジンギスカンが給食に

7月4日に「なよろ煮込みジンギスカン」が誕生したことを記念して、この日は市内の小中学校では煮込みジンギスカンが給食に出て、子どもたちがご当地グルメを味わいました。また、東風連小学校では第746なよろ煮込みジンギスカン艦隊の阿部潤司艦長と担当の職員が給食の時間に同校を訪れ、児童たちに煮込みジンギスカンについて説明をしました。  
※写真は東風連小学校と名寄小学校のようすです。



7/10 (木)  
戦没者追悼式



市民文化センターで行われ、遺族をはじめ来賓などおよそ200人が参列。式は無宗教の形式で、過去の戦争で犠牲となった人たちの冥福を祈りました。

7/9 (水)  
第15回ラベンダー祭り



名寄東小学校で開催。見頃を迎えたラベンダーに囲まれる中、児童や東小コミュニティカレッジ生による歌や踊りなどの発表があり、楽しい一日となりました。

市ホームページ「フォトでお知らせ」、市公式facebookでもまちの話題をお知らせしています。ぜひご覧ください。

## 医療基盤研究所との共同研究契約締結

7月11日に名寄市と独立行政法人医薬基盤研究所が薬用作物にかかわる共同研究契約を市内ホテルで締結しました。本契約は近年、薬用植物が材料となる漢方薬などの国内需要が高まる中、市内に同研究所の薬用植物資源センターがあることから、生産体制確立などに向けた取り組みなどを進めるため、市が支援するもの。また、同研究所が自治体と共同研究に取り組むのは全国で初めてになります。今後の研究成果に期待されます。

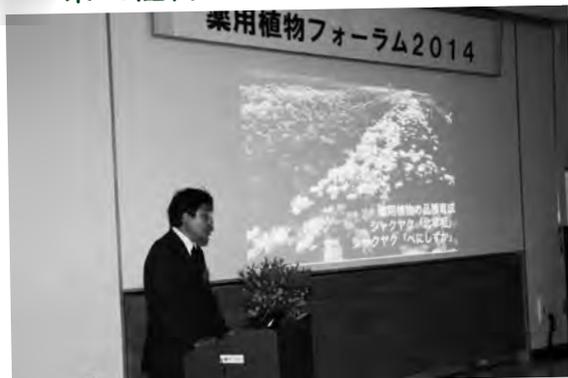


▲契約締結式の様子



▲薬用植物資源研究センターのほ場

## 7/11 (金) 薬用植物フォーラム2014



薬用植物資源研究センター開設50年を記念して実施。初日は専門家による研究成果発表のほか、化粧品会社や製薬会社などがブースを開設していました。

## 7/11 (金) 親子お出かけバスツアー「縁日」



日進コミュニティセンターで親子135人のほか、地域の老人クラブ会員が参加し、ヨーヨーやスーパーボールすくい、かき氷など縁日を楽しみました。

## 7/15 (火) 2人のALTが退任



市内各学校でALT(外国語指導助手)を務めていたマシュー・カイザーさんとケルシー・ブラウンさんが名寄を離れることになり、退任の挨拶を行いました。

## 7/11 (金) 第65回名高祭「あんどん行列」



名寄高校の学校祭が11日からスタート。初日のあんどん行列では、12基のあんどんが生徒たちの元気な掛け声とともに市街を練り歩き、観客を楽しませました。